

マザーレイクフォーラムでの寄付の実績とその成果

寄付金受領総額

寄付金受領総額 4,370,373 円(2021年3月31日まで)

ご寄付いただいた企業・団体の皆様

【平成 26 年度】

- びわ湖 100km チャリティーウォーク実行委員会様

【平成 27 年度】

- びわカンゴルフコンペ様
- びわ湖 100km チャリティーウォーク実行委員会様

【平成 28 年度】

- Flower Produce ichica 様
- びわカンゴルフコンペ様
- びわ湖 100km チャリティーウォーク実行委員会様

【平成 29 年度】

- Flower Produce ichica 様
- びわカンゴルフコンペ様
- びわ湖 100km チャリティーウォーク実行委員会様
- 有志の皆様

【平成 30 年度】

- Flower Produce ichica 様
- びわカンゴルフコンペ様
- びわ湖 100km チャリティーウォーク実行委員会様
- 株式会社ライフコーポレーション様
- 有志の皆様

【令和 01 年度】

- Flower Produce ichica 様
- びわカンゴルフコンペ様
- びわ湖 100km チャリティーウォーク実行委員会様
- 有志の皆様

【令和 02 年度】

- 名古屋港管理組合様
- 有志の皆様

寄付金を活用した活動の実績

| 実施年度 | 区分 | 事業名 | 実績概要 |
|------|--------|------------------------------|---|
| 2016 | 連携促進活動 | 「滋賀の企業の環境貢献活動 はじめの一步セミナー」の開催 | <p>マザーレイクフォーラム・地域連携 WG にて、企業と NPO や地域住民組織とが連携したびわ湖流域の環境貢献活動がもっと積極的に展開されるためには何が必要かを繰り返し話し合い、まずは、「企業」の経営者や CSR 担当者の皆さんに寄り添ったサポートやコーディネート等の支援が必要、との結論に至りました。</p> <p>この取組の第一段階として、「滋賀の企業の環境貢献活動 はじめの一步セミナー」を、滋賀グリーン購入ネットワークさんとの共催で開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:2016年6月10日 ・会場:市民交流プラザ ・参加者数:71名 |
| 2016 | 広報啓発活動 | 「マザーレイクフォーラム」公式パンフレットの制作 | <p>これまで、マザーレイクフォーラムについてイチから伝えるための紙媒体のツールがありませんでした。</p> <p>伝えたい相手にいつでもその場で渡せ、それを見てもらいながらマザーレイクフォーラムの理念・思い・しくみ・活動内容などを紹介できる公式パンフレットをデザイン・制作・印刷しました。</p> <p>(2016年8月初版発行、11月改定・増刷 合計2,500部)</p> |
| 2017 | 広報啓発活動 | 「マザーレイクフォーラム」紹介パネルの制作 | <p>県内外の環境系イベント、びわ湖の保全につながる行事等に出展・展示参加して、マザーレイクフォーラム活動を周知し、裾野を広げるため、展示用パネル(A1縦サイズ×3種類)を制作しました。</p> <p>1枚目は、「びわ湖との約束」を「びわ湖版 SDGs」と位置づけてハニカム状にデザインしたポスター。</p> <p>2枚目・3枚目は、「マザーレイクフォーラム公式パンフレット」の内容をわかりやすく抜粋・再配置したもの。</p> <p>2017年7月に完成し、同月29日に琵琶湖岸で開催された「せっけん運動40周年記念集会」(MLF連携事業)にて初お披露目しました。</p> |
| 2018 | 連携促進活動 | 「母の日・父の日・びわ湖の | <p>より多くの県民・国民にびわ湖に関心を持っていただくきっかけづくりとして、母の日・父の日にびわ湖や水源の森の保全につながるプレゼントを購入する文化を育てるべく、「母の日は、</p> |

| | | | |
|------|--------|--------------------------|--|
| | | 日プロジェクト」の支援 | マザーレイクにありがとう。父の日は、ファザーフォレストにありがとう。びわ湖の日は、びわ湖をまもるすべての人にありがとう。」をコンセプトとした「母の日・父の日・びわ湖の日プロジェクト」が、マザーレイクフォーラム関係者を中心に立ち上がり、「マザーレイクにありがとう実行委員会」を設立して、2018年の母の日を皮切りに、活動がスタートしました。 |
| 2019 | 連携促進活動 | 「母の日・父の日・びわ湖の日プロジェクト」の支援 | 前年度に引き続き、このプロジェクトを支援しました。琵琶湖を思い、環境を大切に守りながら作物や商品をつくらせておられるこだわりの生産者さんたちに注目して、マザーレイクギフトに選んだ商品のつくり手の皆さんをていねいに取材し、その思いが動画や記事にまとめられて広く発信されました。 |
| 2019 | 連携促進活動 | 創発自治プロジェクト(琵琶湖アローズ) | マザーレイクフォーラム運営委員会の「地域連携WG」からスピンアウトしたプロジェクト。 琵琶湖を愛する多様な人たちが出会い、つながりあえる創造的な機会を創り出していくことによって、自ずから面白い活動やプロジェクトが次々に生まれ、さらに多くの人や団体を巻き込みながら育っていく。 そんな「自治」のあり方が、これからの時代にはマッチしているのではないかと、という仮説に基づいて、まずは有志で「琵琶湖アローズ」という組織を立ち上げ、寄付金を活用させていただきながら、出会いのステージとして「#つながる清掃活動」と「#BIWAKOトークカフェ」を試行していくことになりました。 |
| 2020 | 連携促進活動 | 創発自治プロジェクト(琵琶湖アローズ) | 前年度の成果をもとに、「創発自治」のあり方を語る「#BIWAKOトークカフェ」がオンラインで2回開催され、そこでの成果や思いが、「マザーレイクゴールズ(MLGs)アジェンダ(素案)」にも反映されました。 |
| 2020 | 連携促進活動 | 「母の日・父の日・びわ湖の日プロジェクト」の支援 | 大津でセレクトショップを経営する傍ら、オリジナルブランド「BIWAKO CITY」の発信や「琵琶湖クリーニングクラブ」という新発想の湖岸ゴミ拾いサークル活動を展開するなど、若い世代の注目を集める「connect」の西村さんによる監修・プロデュースのもと、これまでの「良い取組ですね」から進化して、「素敵!」「欲しい!」「買いたい!」と「びわ湖が好き!」とをしっかりとつなぐ魅力的なオリジナルの「母の日」「父の日」「びわ湖の日」それぞれのマザーレイクギフトを開発。 これまでにない情報と商品の広まりを創り、「マザーレイクにありがとう」ブランドを確立するとともに、「びわ湖との約束プロジェクト」への流れを生むこともできました。 |

| | | | |
|------|--------|-----------------|---|
| 2020 | 広報啓発活動 | 「びわ湖との約束」プロジェクト | <p>2030年(10年後)のびわ湖や暮らしに思いを馳せ、自分の思い・願い・誓いを「#びわことのやくそく」のハッシュタグをつけてSNS等で発信する「びわ湖との約束ハッシュタグキャンペーン」が2020年7月1日から12月31日まで開催され、約300件もの「びわ湖との約束」が集まりました。</p> <p>集まったたくさんの「びわ湖との約束」がベースとなって、みんなの共通目標「マザーレイクゴールズ(MLGs)」になりました。</p> <p>このキャンペーンを支えた、各SNSからハッシュタグ付き投稿を自動収集してWEB上に掲載するシステムの維持・更新費用として、この寄付金を活用させていただきました。</p> |
| 2021 | 広報啓発活動 | MLGs ロゴマーク制作 | <p>県との協働で、2021年3月にマザーレイクフォーラム運営委員会から発案させていただいた「マザーレイクゴールズ(MLGs)アジェンダ(素案)」。</p> <p>これまで「マザーレイクフォーラム」の活動を通じて積み上げてきたものの集大成が、この「マザーレイクゴールズ(MLGs)」といえます。</p> <p>その「マザーレイクゴールズ(MLGs)」のシンボリックなロゴマークを、一般社団法人SDGs Impact Laboratoryさんと立命館大学の学生さん達に依頼してデザインさせていただきました。</p> |